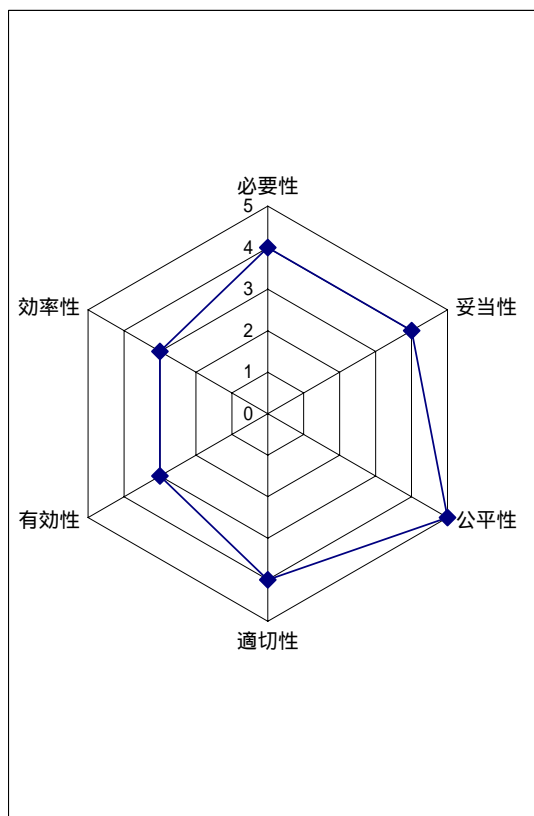


事務事業名	花と緑の街づくり推進事業(ハード)	担当部局	市長部局 都市建設部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	都市計画課
施策体系	その他	担当係名	公園緑係
施策	その他		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	花と緑にあふれた美しい街の実現。花香る道, 市民花壇, 花咲き香る商店街推進事業 花と緑の推進事業を進めていく。		
事業の期間(開始/終了)	平成12年 月 / 99年 月		
根拠法令、条例、規則など	都市計画法		
事業が対象としている人(モノ)	啓発事業	管理団体	
具体的な活動内容	既存の花壇を改修する。		
	市内に花壇を新設する。		
事業の成果	緑豊かな街づくりの推進		
	全市公園化構想の実現		
	緑の住み良い街づくりの推進		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い
	既存の花壇は経年劣化が進んでおり改修は必要である。また、新たに花壇を設置することにより、みんなが緑に接する機会が増え、花と緑にあふれた美しい街の実現が可能となる。
妥当性	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である
	市の所有する土地の花壇の改修については、行政が関与すべきである。しかしながら、新設については花壇として活用したい団体があるならば、それらに管理運用をお願いしてもいいのではと考えます。
公平性	5 広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない
	花壇に花々を咲かせることにより、道行く人たちの目を楽ませることが出来、偏りは無いものと考えます。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない
	花と緑にあふれた美しい街の実現には、花壇を整備し花々を咲かせることも手段のひとつと考える。
有効性	3 どちらとも言えない
	既存の花壇の改修をすることで、土砂の流出を防止し、道行く人の心をなごませる演出ができています。
効率性	3 どちらとも言えない
	既存の花壇の改修も、限られた予算内で行っている状況であり、計画している事業量を年次分割して遂行しているため、進捗率は低い状況であります。

総合評価	現状の進捗速度では遅いと考える。計画的に進めるに当たっては、ある程度まとまった事業量での改修をすすめることが望ましい。
------	---

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	0	中長期的方向	維持継続
	説明	都市計画道路3・4・14号線の花壇改修については、結城駅南口から国道50号線までについては、平成19年度までに完了する計画であるが、国道50号から国道50号バイパスまでの花壇改修については道路管理者と協議する。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	都市計画道路3・4・14号線の花壇改修については、段階的に効率的に整備を進める。			